

NR-Q819 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・JR九州BEC819系
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(テラツキ対策を施しています。)

！ 注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機身上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
・ライトユニット : 1個/セット

【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

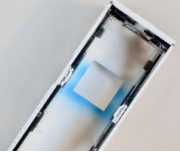
※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

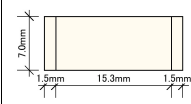


- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビエ」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(プッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・塗料(黒)

● 取り付け手順

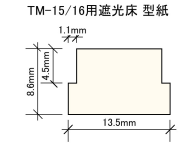

1. 分解する				
1-1 床板を外す 	1-2 パンタグラフを外す 	1-3 側窓を外す 	1-4 ライトレンズを外す 	
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	パンタグラフを、脚を内側から楊枝などで押しを外します。	まず妻窓を、側窓との噛み合部をコジって外します。	次いで側窓を、ライトレンズとの噛み合部をコジって外します。	側窓を外すと、自然にライトレンズが外れます。前面窓を外す必要はありません。
2. 車体を加工する				3a. 床板を加工する (トレーラー車の場合)
2-1 ライトレンズを遮光する 	2-2 ボディを遮光する 	2-3 側窓を加工する 	2-4 スカートを加工する 	
ライトレンズの表側及び断面を、黒の塗料(エナメルを推奨)で遮光します。	ボディ内側のライト周辺及びライトの穴の中を、黒の塗料(エナメルを推奨)で遮光します。	側窓の前端下部を、幅2mm、高さ5mmの大きさに切り欠きます。	スカートの脚を、ツメの下の水平部分の下で切り取ります。	床板前端的両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。
(3aつづき) 	3b. 動力ユニットを加工する (動力ユニットを組み込む場合) 		4. ライトユニットを取り付ける 4-1 ライトユニットを準備する 	
シート前端的張り出しより前の部分(約2mm)をカットします。	動力ユニットのスペーサーの両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。	動力ユニットのフレームのうち、前項で切り欠いたスペーサーからはみ出る部分を削り取ります。	ヘッドライトの上部に、0.5mm×2.5mmの両面テープを貼ります。また、テールライトの下部に、0.5mm×4.5mmの両面テープを貼ります。	ライトレンズを、ライトユニットの上に貼付け、点灯試験を行い、LEDの光軸を調整します。位置が決まったら、隙間に微量の瞬間接着剤を流し込み、ズレを防ぎます。
5. 配線する				
4-3 ライトユニットを取り付ける 	5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る 	5-2 側窓下にアルミテープを貼る 		
ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。	5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリップに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所の凸部に貼ります。	3mm×109mmのアルミテープを2本用意します。側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。両側の側窓に貼ります。		

5-3 側窓をはめる	5-4 ライトユニットに配線する	5-5 側窓下の重ね貼り
		
側窓をはめ、両面テープで固定します。 次いで妻窓をはめます。	1.5mm × 15mmのアルミテープで、ライトユニットの給電パッドから側窓下まで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、4.5mm × 5.5mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取付ける
乗務員室仕切り 型紙 		
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)	乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。	乗務員室仕切りを、棧の前側に設置します。

●遮光床を取り付ける(動力ユニットを使用し室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1. 遮光床を取り付ける
TM-15/16用遮光床 型紙 	
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)	動力ユニットのフレームの開口部に遮光床をはめ、両面テープで固定します。 前後両端に取り付けます。

